					应原怀日午 5	中 日本国恩仏五	
			シラバス				
科目の基礎情報①							
授業形態	講義	科目名		日本国憲法 A			
必修選択	選択	(学則表記)		日本国憲法 A	1		
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
/+ m */_ 1	保育士・教員のな	- めの憲法		J. IICA	八千代出版		
使用教材	学習の手引き			出版社			
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	日本国憲法の拠っ	って立つ理念・基本原:	理、基本的人権の内容について	- 学ぶ。			
	①憲法の意義や特質や基本原理を理解し説明できる。						
到達目標	②憲法の保障する基本的人権の内容や制約について理解し説明できる。						
	③憲法の定める統治の原理について理解し説明できる。						
=======================================	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト):20%						
評価基準	科目修得試験結果	具(合否)は専門学校の	の成績に影響しない。				
37000	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
認定条件	・成績評価が2以上の者						
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許						
関連科目	なし						
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する						
担当教員	金坂 信成 実務経験 〇						
中致中亞	株式会社リーガル	レマインド公務員課 6:	 年勤務、株式会社グローバルア	イ3年勤務、塾講	師として7年勤務	K 株式会社 TAC	
実務内容	で7年勤務、代々	木ゼミナール5年勤	務				

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	個人の尊厳と一般人の権利	日本国憲法の基本原理である個人の尊重と、その人権保障について(第1章)				
2	人権の制約	日本国憲法の保障する基本的人権の限界、明文化されていない権利について(第2章)				
3	平等権	憲法の保障しようとする平等や禁止する差別を知り、教育現場における課題について(第3章)				
4	思想・良心の自由、信教の自由	思想・良心の自由および信教の自由について(第4章)				
5	表現の自由	表現の自由が許される範囲と、限界について(第5章)				

		区療休月付 · 3 中 · 口中国恩広 A
6	修得確認	第1講~第5講までのまとめ
7	修得確認	第 1 講~第 5 講までのまとめ
8	学問の自由、教師の教育の自由	学問の自由の意味と教師の自由の範囲について(第6章)
9	社会権	自由権とは対照的な性質をもつ社会権(生存権・労働基本権)について(第7章)
10	教育を受ける権利	教育を受ける権利の内容と保障のあり方について(第8章)
11	経済的自由権	経済的自由とそれを支える社会権について(第9章)
12	人身の自由	刑事事件で保障される権利について(第10章)
13	修得確認	第8講~第12講までの復習
14	期末テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

					E//K/P(1)11 0	中 日本国思仏D	
			シラバス				
科目の基礎情報①							
授業形態	講義 科目名 日本国憲法 B						
必修選択	選択	(学則表記)		日本国憲法 B			
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
/ =	保育士・教員のな	こめの憲法		111457	八千代出版		
使用教材	学習の手引き			出版社			
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	日本国憲法の拠っ	って立つ理念・基本原	理、基本的人権の内容について	(学ぶ。			
	①憲法の意義や特質や基本原理を理解し説明できる。						
到達目標	②憲法の保障する基本的人権の内容や制約について理解し説明できる。						
	③憲法の定める統治の原理について理解し説明できる。						
===/==++>#	修得確認:50%	・授業態度:30%・学	習の手引き(理解度テスト・し	ンポートテスト):	20%		
評価基準	科目修得試験結果	昊(合否)は専門学校	の成績に影響しない。				
=======================================	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
認定条件	・成績評価が 2 り	以上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許						
関連科目	なし						
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する						
担当教員	金坂 信成 実務経験 〇						
中致中央	株式会社リーガル	レマインド公務員課 6	年勤務、株式会社グローバルア	イ3年勤務、塾講	師として7年勤務	、株式会社 TAC	
実務内容	で7年勤務、代々木ゼミナール5年勤務						

	各回の展開					
回数	単元	内容				
	+11 + 2 = 2 = 2	後期の授業の流れや到達目標について				
1	オリエンテーション 1	国民主権の原理とそれを実現する参政権(選挙権)、人権が侵害された時の救済について(第 11				
		章)				
2	権力分立(1) 立法権	立法、行政、司法による抑制と均衡の原理と立法府の仕組み・役割について(第 12 章)				
		正点、自然、引体による時間に対例のが存在で正面的の目標の 区間に 2016 (対 12 手)				
3	 権力分立(2) 行政権・司法権	三権分立のうち行政権と司法権についてそれを担う内閣・裁判所の仕組み、役割について(第 13				
3	惟刀刀並(2) 1)政権・円法権	章)				
4	地方自治	地方自治の内容と実際の展開、教育における地方自治について(第 14 章)				

		医療保育科 - 3 年 - 日本国憲法 B
5	平和主義	平和主義の内容と自衛隊の派遣に関する解釈について(第 15 章)
6	修得確認	第 11 講〜第 15 講までの復習
7	修得確認	第 11 講〜第 15 講までの復習
8	まとめ①	単元ごとにワークまとめ
9	まとめ②	単元ごとにワークまとめ
10	まとめ③	単元ごとにワークまとめ
11	まとめ④	単元ごとにワークまとめ
12	まとめ⑤	単元ごとにワークまとめ
13	まとめ⑥	単元ごとにワークまとめ
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	単元ごとにワークを行い学びを深める。

					四次水百11 0	中 医原阳等仏孔	
			シラバス				
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名		健康指導法 A			
必修選択	選択	(学則表記)		健康指導法 A			
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
(+- cro +/	新版 保育者をめ	ざす保育内容「健康」		delle II	圭文社		
使用教材	学習の手引き			出版社			
	!		科目の基礎情報②	,			
157 W O 1 2 1 1	幼稚園、保育園、	認定こども園で実践す	する教育、保育の「健康」の位	置づけを理解し、	子どもの発達に応	じた支援、援助、	
授業のねらい	環境設定や安全教	対育、それらに付随す	る専門知識や学校教育の流れを	·学ぶ。			
	幼稚園、保育園、認定こども園で実践する教育、保育の「健康」の位置づけについて説明できる						
到達目標	子どもの発達に即した支援、援助、環境設定を説明できる						
	指導方法や教材づくり、評価法や小学校教育とのつながりを述べることができる						
=17 /17 ++ 2/+	修得確認:50%	授業態度:30% 学習	の手引き(理解度テスト・レカ	ペートテスト):20	1%		
評価基準	科目修得試験結果	具(合否)は専門学校の	の成績に影響しない。				
=7 4 //	・出席が総時間数	女の 3 分の 2 以上ある	者				
認定条件	・成績評価が2り	以上の者					
関連資格	保育士資格、幼稚	生園教諭免許					
	PNO EXTEN OTHERSTANDOUT						
関連科目	健康/健康・健康スポーツ/健康指導法 B						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
ν. συν	が次、この行口は対面以来ルルに(大肥する						
担当教員	中村 純子 実務経験 ○						
中致中的	カワイ体育教室名	ト園にて幼児体育指導	30年				
実務内容	保育園・幼稚園・	認定こども園にて体	育指導他				

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について				
2	保育内容「健康」で学ぶこと	各法令や要領、指針における「健康」の扱いについて				
3	からだの発達	からだの発育と発達について				
4	からだの発達	運動発達について				

		应原床目性 - 3 + - 使原相等伝 ∩
5	からだの発達	運動発達を促進する運動指導について
6	こころの発達	発達段階について
7	子どもにとって遊びとは	子どもの遊びの重要性について
8	様々な遊び	様々な遊びの実践や注意点について
9	様々な遊び	自然環境に応じた遊びについて
10	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣について
11	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣について
12	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣と保育者のかかわりについて
13	基本的生活習慣の形成	基本的生活習慣と保育者のかかわりについて
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

					区原怀日午 3	平 医原用等仏 D	
			シラバス				
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名		健康指導法B			
必修選択	選択	(学則表記)		健康指導法B			
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
/+ m */_	新版 保育者をめ	ざす保育内容「健康」		.1.11541	圭文社		
使用教材	学習の手引き			出版社			
			科目の基礎情報②				
157 W O 1 2 1 1	幼稚園、保育園、	認定こども園で実践す	する教育、保育の「健康」の位	置づけを理解し、 -	子どもの発達に応	じた支援、援助、	
授業のねらい	環境設定や安全教	対育、それらに付随す	る専門知識や学校教育の流れを	:学ぶ。			
	幼稚園、保育園、認定こども園で実践する教育、保育の「健康」の位置づけについて説明できる						
到達目標	子どもの発達に即した支援、援助、環境設定を説明できる						
	指導方法や教材づくり、評価法や小学校教育とのつながりを述べることができる						
	修得確認:50%	授業態度:30% 学習	の手引き(理解度テスト・レカ	ポートテスト):20)%		
評価基準	科目修得試験結果	具(合否)は専門学校の	の成績に影響しない。				
	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
認定条件	・成績評価が2以	以上の者					
関連資格		生周教諭布許					
	保育士資格、幼稚園教諭免許						
関連科目	健康/健康・健康スポーツ/健康指導法 B						
	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	中村 純子 実務経験 〇			0			
	カワイ体育教室名	 - 					
実務内容	保育園・幼稚園・	·認定こども園にて体 ⁵	育指導他				
	l						

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	オリエンテーション	授業概要、評価方法について				
2	子どもを取り巻く現状	現代社会と子どもについて				
3	子どもを取り巻く現状	子どもとメディアについて				
4	食育と健康	食育の基本について				

		区原床目付 5 升 7 健康相等仏 D
5	子どもの安全管理と安全教育	現場での安全管理や子どもと実践する安全教育について
6	子どもの安全管理と安全教育	現場での安全管理や子どもと実践する安全教育について
7	子どものケガや病気	乳児や幼児に気をつけたいケガや病気について
8	子どものケガや病気	乳児や幼児に気をつけたいケガや病気について
9	修得確認	テストの実施
10	修得確認	テストの実施
11	総まとめ	第 1~5 講のまとめ
12	総まとめ	第 6~10 講のまとめ
13	総まとめ	第 11~15 講のまとめ
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

					区原体日午 5	中 农况旧等伍 1	
			シラバス				
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名		表現指導法A	1		
必修選択	選択	(学則表記)		表現指導法 A			
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
存 田 # + + +	表現指導法 一感	性を育て、表現の正解	を拓く一	111454	萌文書林		
使用教材	学習の手引き			出版社			
			科目の基礎情報②				
	幼稚園、保育所お	および幼保認定連携型	認定こども園における乳幼児の	「表現」の指導法	について考究して	ていく。子どもの	
授業のねらい	表現活動を支える援助者として表現力を向上させるとともに、子ども達に表現することの素晴らしさを伝える指導力を培						
	う						
	①幼稚園および保育所等における「表現」の内容について基礎的な知識を得る。						
到達目標	②保育者として自ら表現する楽しさを感じ、子どもの発達に応じた表現の指導力が身につく。						
	③可能な環境設定の中で模擬授業を構築することができる。						
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト):20%						
可Ш圣年	科目修得試験結果(合否)は専門学校の成績に影響しない。						
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
此是未刊	・成績評価が2岁	以上の者					
関連資格							
関連科目	子どもの造形表現A、子どもの造形表現B・製作あそび						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	中村 加奈子 実務経験 〇			0			
実務内容	保育士12年7ヵ	保育士12年7か月、保育士養成校専任教員3年間勤務					
					5.W - D.B. (%+)		

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	子どもにとっての表現とは	子どもの「表現」に関する基礎的な事項について学ぶ(第1章)				
2	領域「表現」とは	領域「表現」のねらい及び内容について学ぶ(第2章)				
3	リズムを楽しむ子どもの身体表現	子どもの身体表現とリズムとの密接な関わり合いを学ぶ(第3章)				
4	スポーツの名場面を表現に	スポーツの特性を知り身体表現との相違点や類似点を学ぶ(第4章)				

		医療体育性 5 年 · 教苑相等伝 A
5	音楽表現活動の指導①	音を聴き、声を使った表現遊びの実践方法や保育者の関わり方を学ぶ(第5章)
6	音楽表現活動の指導②	楽器や様々な素材の音を使った表現遊びの実践方法や保育者の関わり方を学ぶ (第6章)
7	幼児の造形表現の特質	子どもの造形について発達の観点から知り、造形の遊びへと展開できる技術を身につける(第7章)
8	造形の材料と技法	造形表現の材料や技法について学ぶ(第8章)
9	言葉による表現Ⅰ	子どもにとっての言語表現とは何かについて理解する(第9章)
10	言葉による表現Ⅱ	言葉を媒介とした表現遊びについて理解する(第 10 章)
11	自然と生活1	春の保育活動の特色について理解する(第 11 章)
12	夏のイメージから表現へ	夏のイメージから多様な表現が生まれることを学ぶ(第 12 章)
13	総合的音楽表現活動の指導	行事を通して子どもの自主性や表現力、協働する力を育むための保育者の関わり方や計画の実践方法を学ぶ(第 13 章)
14	修得確認	修得確認
15	総まとめ	総まとめ、振り返り

						平 农死旧等公日
科目の基礎情報①						
	選択	(学則表記)		表現指導法B	}	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
/本田教社	表現指導法 一感	性を育て、表現の正解	を拓く一	出版社	萌文書林	
使用教材	学習の手引き			江 加久个上		
			科目の基礎情報②			
	幼稚園、保育所お	るよび幼保認定連携型	認定こども園における乳幼児の	「表現」の指導法	まについて考究して	ていく。子どもの
授業のねらい	表現活動を支える	る援助者として表現力 [。]	を向上させるとともに、子ども	達に表現すること	の素晴らしさを伝	云える指導力を培
	う					
	①幼稚園および係	保育所等における「表	見」の内容について基礎的な知	知識を得る。		
到達目標	②保育者として自ら表現する楽しさを感じ、子どもの発達に応じた表現の指導力が身につく。					
	③可能な環境設定の中で模擬授業を構築することができる。					
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト):20%					
		具(合否)は専門学校(
認定条件		女の 3 分の 2 以上ある: 	者			
	・成績評価が2以	以上の者				
関連資格						
関連科目	子どもの造形表現A、子どもの造形表現B・製作あそび					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	中村 加奈子 実務経験 〇			0		
実務内容	保育士12年7か月、保育士養成校専任教員3年間勤務					

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	総合活動計画の立案	季節を題材にした部分指導案を立案する(第 14 章)				
2	総合活動計画の立案②	季節を題材にし立案した指導案を発表する(第 14 章)				
3	領域「表現」の目指すもの	現代社会の中で子どもの豊かな表現を育むための課題について考える(第 15 章)				
4	領域「表現」の目指すもの②	現代社会の中で子どもの豊かな表現を育むための課題について発表し合う(第 15 章)				

		应原床目性 ¯ 3 + ¯ 4 次班组等在 D
5	子どもにとっての表現とは 領域「表現」とは	第1章、第2章の復習を行い、領域「表現」を理解する
6	リズムを楽しむ子どもの身体表現 スポーツの名場面を表現に	第3章、第4章の復習を行い、身体表現・スポーツの中の表現を理解する
7	音楽表現活動の指導	第5章、第6章の復習を行い、音楽表現活動を理解する
8	幼児の造形表現の特質 造形の材料と技法	第7章、第8章の復習を行い、造形表現とその技法を理解する
9	言葉による表現	第9章の復習を行い、子どもにとっての言語表現を理解する
10	言葉による表現	第10章の復習を行い、言葉を媒介とした表情遊びを展開する
11	自然と生活1	第11章の復習を行い、春の表現活動について理解を深める
12	夏のイメージから表現へ	第12章の復習を行い、夏の表現活動について理解を深める
13	領域「表現」の目指すもの	子どもの豊かな表現を育むための課題について理解を深める
14	修得確認	修得確認を行う
15	総まとめ	授業の総まとめを行う

			シラバス				
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義 科目名 人間関係指導法 A						
必修選択	選択	(学則表記)		人間関係指導法 A			
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
使用教材	①実践につながる	る新しい保育内容「人	間関係」	出版社)ミネルヴァ書	房	
医用软的	②学習の手引き			LI NXTL			
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	領域「人間関係」	のねらい及び内容につ	ついて専門領域と関連させて理	解を深め、具体的保	育を構成する力	を養う。「幼児の	
又未のねりい	人と関わる力の育	育ち」を理論的・実践に	的に理解し、保育者の「育てる	る側の人間」としての)資質の向上を目	目指す。	
	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。						
到達目標	②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に						
	つける。						
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き (理解度テスト・レポートテスト):20%						
川岬金子	科目修得試験結果(合否)は専門学校の成績に影響しない。						
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
povezini i	・成績評価が2以上の者						
関連資格	保育士資格・幼科	保育士資格・幼稚園教諭					
関連科目	人間関係						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
	が大人 こうではなり回及未ルルでく大心 7 の						
担当教員	細田 奈津子 実務経験 ○						
実務内容	幼稚園13年、認	幼稚園13年、認定こども園3年、障害児施設4年勤務					

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	領域「人間関係」①	幼稚園教育要領の構造理解と、領域「人間関係」のねらい及び内容・保育実践の在り方や評価の 理解に努める			
2	領域「人間関係」②	幼稚園教育要領の領域「人間関係」が目指す育ちと保育者の視点と役割を理解し事例研究を行う			
3	子どもの生活の中で育まれる人間 関係①	幼児の生活体験に関する保育構想及び展開と保育者の役割を理解する			
4	子どもの生活の中で育まれる人間 関係②	生活環境の工夫に関する教材研究を行う			
5	子どもの遊びの中で育まれる人間 関係①	幼児の遊び体験に関する保育構想及び展開と保育者の役割を理解する			

		医療保育科·3 平·人间舆除指导法A
6	子どもの遊びの中で育まれる人間 関係②	園における遊び環境の工夫に関する教材研究を行う
7	保育の展開と指導計画①	保育の構想と指導計画、模擬保育について理解する
8	保育の展開と指導計画②	保育の構想と指導計画、模擬保育について理解する
9	保育の展開と指導計画③	模擬保育の実施のための指導計画を行う
10	指導計画と実践①	人間関係を育む保育の立案、立案型学習による指導案演習を行う
11	指導計画と実践②	人間関係を育む保育の立案、立案型学習による指導案演習を行う
12	指導計画と実践③	指導案に基づいた模擬保育を実施する
13	指導計画と実践④	指導案に基づいた模擬保育と振り返りを実施する
14	修得確認	前期の修得確認を行う
15	総まとめ	総まとめ、振り返り

			シラバス				
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義 科目名 人間関係指導法B						
必修選択	選択	(学則表記)		人間関係指導法 E	3		
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
使用教材	①実践につながる	新しい保育内容「人	間関係」	出版社	①ミネルヴァ書	房	
区用权的	②学習の手引き			шихт			
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	領域「人間関係」	のねらい及び内容につ	ついて専門領域と関連させて理	解を深め、具体的保	育を構成する力	を養う。「幼児の	
1又未り4より 0・	人と関わる力の育	「ち」を理論的・実践E	的に理解し、保育者の「育てる	る側の人間」としての	の資質の向上を目	目指す。	
	①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。						
到達目標	②幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に						
	つける。						
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き (理解度テスト・レポートテスト):20%						
M 1 1 1 1 1	科目修得試験結果(合否)は専門学校の成績に影響しない。						
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
poses, et al.	・成績評価が 2 り	人上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭						
関連科目	人間関係						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	細田 奈津子 実務経験 〇						
実務内容	幼稚園13年、認定こども園3年、障害児施設4年勤務						

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	多様な配慮と保育の構想①	個別の配慮が必要な幼児への援助に関する事例研究を実施する			
2	多様な配慮と保育の構想②	個と集団の育ちへの理解と援助方法を学ぶ			
3	小学校生活への接続①	幼児期の終わりまでに育ってほしい「人間関係」を学ぶ			
4	小学校生活への接続②	小学校生活と領域「人間関係」、事例研究を実施する			
5	地域連携と保育の構想	幼稚園教育における現代的課題の整理、文化の伝承と保護者や地域との連携に関する指導案分析 演習を行う			

		区療休月科 * 3 升 * 人间舆际拍导伝 D
6	領域「人間関係」	第1章を復習し、領域「人間関係」を理解する
7	子どもの生活の中で育まれる 人間関係	第2章を復習し、子どもの生活の中で育まれる人間関係を理解する
8	子どもの遊びの中で育まれる 人間関係	第3章を復習し、子どもの遊びの中で育まれる人間関係を理解する
9	保育の展開と指導計画	第4章を復習し、保育の展開と指導計画を理解する
10	指導計画と実践	第5章を復習し、指導計画と実践を行う
11	多様な配慮と保育構想	第6章を復習し、多様な配慮と保育構想を理解する
12	小学校生活への接続	第7章を復習し、小学校生活への接続を学ぶ
13	地域連携と保育の構想	第8章を復習し、地域連携と保育の構想を学ぶ
14	修得確認	修得確認の修得確認を行う
15	総まとめ	これまでの総まとめ

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		子ども家庭支援論	â A	
必修選択	選択	(学則表記)		子ども家庭支援論	 A	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	児童の福祉を支え	る子ども家庭支援論		出版社	萌文書林	
区というない	学習の手引き			ш/ж/т		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	家庭の機能の変化	とや現状、社会的背景、	関連分野の実践、法体系、子	·育て支援サービス	について学習し、	実際に家庭支援
1XX 47 18 17 0	に取り組む際に役	改立つ、多角的且つ具件	体的な方法と考え方について習	得する		
	①子育て家庭に対する支援の意義・目的を述べることができる。					
到達目標	②保育の専門性を生かした子ども家庭支援の意義と基本について述べることができる。					
23.24 (8)	③子育て家庭に対する支援の体制について述べることができる。					
	④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状について述べることができる。					
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト):20%					
	科目修得試験結果	具(合否)は専門学校の	の成績に影響しない。			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
20727111	・成績評価が2以上の者					
関連資格	保育士・幼稚園教諭					
関連科目	子ども家庭福祉 A/B,社会的養護 A/B,社会福祉 A/B					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	武内 玲美 実務経験 〇					
実務内容	道立高校教諭					

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	子ども家庭支援の意義と必要性	第1章(1)子どもが育つ場としての家庭の在り方とそれを支援する意義について				
2	子ども家庭支援の意義と必要性	第1章(1)子どもが育つ場としての家庭の在り方とそれを支援する意義について				
3	子ども家庭支援の目的と機能	第1章(2)家庭支援の目的と機能について				
4	子ども家庭支援の目的と機能	第1章(2)家庭支援の目的と機能について				

		区原术目付 3 中 · 1 C 9 豕庭又饭酬 A
5	子どもの発達と家族	第2章子どもの発達に応じた家族や家庭の在り方について
6	子どもの発達と家族	第2章子どもの発達に応じた家族や家庭の在り方について
7	保育の専門性と子ども家庭支援	第3章(1)保育士として家庭を支援する強みについて
8	保育の専門性と子ども家庭支援	第3章(1)保育士として家庭を支援する強みについて
9	子どもの育ちの喜びの共有	第3章(2)保護者相談や保護者との関係づくりにおいて重要な態度について
10	子どもの育ちの喜びの共有	第3章(2)保護者相談や保護者との関係づくりにおいて重要な態度について
11	保護者や地域の子育て力の向上	第3章(3)保護者の子育でする力や地域が子育で支援をする力を育むための考え方について
12	保育士に求められる基本的態度	第3章(4)バイステックの原則、保護者の相談に応ずるときの基本的態度について
13	家庭の状況に応じた支援	第3章(5)家庭機能を念頭に置いた支援と、アセスメントから始める相談支援の考え方について
14	修得確認	テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス						
科目の基礎情報①						
授業形態	講義	科目名		子ども家庭支援詞	â B	
必修選択	選択	(学則表記)		子ども家庭支援詞	â B	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	児童の福祉を支え	る子ども家庭支援論		出版社	萌文書林	
区用款的	学習の手引き			III/IX'II		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	家庭の機能の変化	どや現状、社会的背景、	関連分野の実践、法体系、子	' 育て支援サービス	について学習し、	実際に家庭支援
文条の有の	に取り組む際に役	改立つ、多角的且つ具件	体的な方法と考え方について習	習得する		
	①子育て家庭に対する支援の意義・目的を述べることができる。					
到達目標	②保育の専門性を生かした子ども家庭支援の意義と基本について述べることができる。					
	③子育て家庭に対する支援の体制について述べることができる。					
	④子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状について述べることができる。					
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト):20%					
	科目修得試験結果(合否)は専門学校の成績に影響しない。					
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
207271111	・成績評価が 2 以	人上の者				
関連資格	保育士・幼稚園教諭					
関連科目	子ども家庭福祉 A/B,社会的養護 A/B,社会福祉 A/B					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	武内 玲美 実務経験 〇					
実務内容	道立高校教諭					

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	地域の資源の活用と連携・協力	第3章(6)多様な地域資源や自治体・関係機関について				
2	子育て家庭のための社会資源	第 4 章(1)家庭が子育てに行き詰ったときに利用できる社会資源について				
3	子育て支援施策	第4章(2)行政の行なっている子育て支援の根幹となる法律や施策について				
4	次世代育成施策の推進	第4章(3)(4)次世代育成に関わる施策と男女共同参画の動向について				

		医療保育科・3 年・ ナとも 家庭文 振調 B
5	多様な支援の展開と関係機関との 連携	第5章(1)現在展開されている多様な子育て支援と連携の重要性について
6	保育所を利用する子どもの家庭、 地域の子育て家庭への支援	第5章(2)(3)保育所の利用者や保育所を利用していない保護者の子育て支援について
7	要保護児童等及びその家族に対す る 支援	第5章(4)貧困家庭や虐待が疑われる家庭、障害児を育てる家庭や外国につながる家庭への支援について
8	子ども家庭支援の意義と必要性 子ども家庭支援の目的と機能	第1章の復習・子ども家庭支援の意義や機能について
9	子どもの発達と家族	第 2 章の復習・子どもの発達に応じた家族や家庭の在り方について
10	子どもの育ちの喜びの共有	第3章の復習・保護者相談や保護者との関係づくりにおいて重要な態度について
11	子育て家庭のための社会資源 子育て支援施策 次世代育成施策の推進	第 4 章の復習・子育て支援に関する法律や施策について
12	多様な支援の展開と関係機関との 連携	第5章(1)の復習・現在展開されている多様な子育て支援と連携の重要性について
13	保育所を利用する子どもの家庭、 地域の子育て家庭への支援	第5章(2)(3)の復習・保育所の利用者や保育所を利用していない保護者の子育て支援について
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

			シラバス			月代 3年 日来	
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義	科目名		 言葉			
必修選択	選択	(学則表記)		言葉			
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
使用教材	保育学生のための)「幼児と言葉」「言葉	指導法」	出版社	ミネルヴァ書房		
医用软的	学習の手引き			LI NX1L			
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	言葉の意義や機能	とについて事例を通し [、]	て学ぶとともに、言葉を豊かに	する実践や児童文	化財の意義と		
1文未の4よりい	活用方法について	体験的に理解し、保	育への取り入れ方を考える				
	①人間にとっての言葉の意義や機能について理解し保育に取り入れることが出来る。						
到達目標	②言葉に対する感覚を豊かにすることが出来、実践することが出来る。						
	③幼児の発達における児童文化財の意義を理解し保育に取り入れることが出来る。						
評価基準	修得確認:50%・授業態度:30%・学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト):20%						
~	科目修得試験結果	県(合否)は専門学校(の成績に影響しない。				
認定条件	・出席が総時間数	女の3分の2以上ある	者				
X 0/C/(11)	・成績評価が 2 以	人上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚						
関連科目	環境・人間関係						
NACTION 1	사 전 시 티 시 시						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	中村 加奈子 実務経験 〇						
実務内容	保育士12年7ヵ	、月、保育士養成校専	任教員3年間勤務				

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	人間と言葉	人間にとっての言葉の意義と機能について				
2	子どもの言葉の発達過程	子どもの言葉の発達過程と気づきについて				
3	子どもの言葉の発達過程	子どもの言葉の発達過程と気づきについて				
4	言葉の楽しさや美しさ	言葉の楽しさや美しさについて				
5	子どもの発達と言葉遊び	子どもの発達と言葉遊びの関係性について				

		四次内部 0 日本
6	子どもの発達と言葉遊び	子どもの発達と言葉遊びの関係性について
7	言葉遊びの実際	言葉遊びの活用方法について
8	言葉遊びの実際	言葉遊びの活用方法について
9	児童文化財とは	児童文化財の種類と保育における意義について
10	児童文化財の活用	児童文化財について
11	児童文化財の活用	児童文化財について
12	子どもの発達と児童文化財	言葉を育てる模擬保育について
13	修得確認	期末テストの実施
14	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

			·	区原休月件	- 3 牛 - 村別又仮	教育・保育概論A	
			シラバス 科目の基礎情報①				
授業形態	講義	 科目名		 別支援教育・保育	椰盒Λ		
が ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選択	 (学則表記)		文仮教育・保育 支援教育・保育	17-1		
	医 扒	(子別衣記) 開講	1 ব	以 及 狡 科 月 · 休 月	·····································	時間数	
 年次	3年		医療保育科		<u> </u>	15	
十八	· ·				 萌文書林	13	
使用教材	一』、学習の手引		《C女,句】C00/在所C又版	出版社	明人自仰		
			科目の基礎情報②				
	特別支援教育の教	女育・保育の理論や制 <i>I</i>	要の理解をもとに、教育・保育の	 D展開に必要なア	セスメント方法や	ウ支援計画の立案	
	方法、教育・保育	育現場での実践的な支 持	援方法を学ぶ。				
授業のねらい	内容は、特別支援教育・保育の歴史、インクルーシブ教育・保育の理念と意義、家庭や関連機関との連携をとりあげる。						
	特に、個々の特性や心身の発達に応じた援助や配慮につなげられるよう、障害や発達特性、日常生活での配慮や環境設定						
	の仕方、個別支援	賃計画の立案、複合的	なニーズへの対応等を学ぶ。				
	① 特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。						
到達目標	② 特別の支援を必要とする子どもに対する教育課程、支援の方法を理解する。						
刀是自然	③ 多言語環境や貧困等、障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの生活上の困難さ、対応の仕方を理解する。ま						
	た、それらの子と	ざもの特性及び心身の	発達を理解する。				
評価基準	学習の手引き(理解度テスト・レポートテスト): 20%・修得確認:50%・授業態度:30%						
	科目修得試験結果	具(合否)は専門学校(の成績に影響しない。				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
	・成績評価が 2 以	人上の者 					
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許						
	障害児保育、特別支援教育・保育概論 B						
NACTION 1							
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	北越 知尋 実務経験 〇						
実務内容	(保育士、幼稚園教諭一種、特別支援教諭)児童発達支援事業所に約 10 年従事。児童発達支援管理責任者を務める。						

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	特別支援教育・保育の歴史的変遷	特別支援教育・保育を支える理念や制度、歴史的変遷、「障害」の定義について				
1	「障害」の概念	幼稚園、保育所におけるインクルーシブ教育・保育について(教科書第1章)				
2	特別な主揺がみ悪なフジャ	肢体不自由・知的障害・視覚・聴覚・言語障害のある子どもの発達特性について				
2	2 特別な支援が必要な子ども	(教科書第2章)				
3 !	# DI 6 - 1 15 19 2 - 1 2 19 1	重症心身障害児・医療的ケア児の特性を理解し具体的な支援・援助について学ぶ。				
	特別な支援が必要な子ども 	(教科書第2章)				

	T	医療保育科 - 3 年 - 特別文援教育・保育概論 A
4	特別な支援が必要な子ども	注意欠如・多動性障害、限局性学習障害・自閉症スペクトラム障害などの発達障害について (教科書第2章)
5	特別な支援が必要な子ども	虐待を受けている子ども、貧困や外国籍など特別な配慮が必要な子どもたちについて (教科書第2章)
6	幼稚園・保育所における個別支援・ 個別指導計画の作成と記録及び評 価	特別な支援が必要な子どものニーズのアセスメント方法やそれに合わせた個別支援・援助計画、 指導計画の意義、遊びや日常生活動作を促進する活動について 特別支援教育・保育での保育者との協働のあり方と、職員間の連携について (教科書第3章)
7	同上	同上
8	特別な支援を必要とする幼児児童 及び生徒に対する教育課程や支援 方法	教育課程での通級による指導や自立活動の位置づけについて 個別教育計画の立案について 特別支援コーディネーターの役割について (教科書第4章)
9	同上	同上
10	家庭及び関係機関との連携特別な 支援が必要な子どもの教育・保育 にかかわる現状と課題	特別な支援が必要な子どもとその家族の課題、および早期療育の意義と内容について (教科書第5・6章)
11	同上	同上
12	同上	同上
13	修得確認	修得確認
14	まとめ	前期のまとめを行う
15	同上	同上

			シラバス				
科目の基礎情報①							
授業形態	講義	科目名	特別支援教育·保育概論B				
必修選択	選択	(学則表記)	特	別支援教育・保育	概論B		
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
使用教材	『特別支援教育・ 一』、学習の手引		튛を要する子どもの理解と支援	出版社	萌文書林		
			科目の基礎情報②				
	特別支援教育の教	対育・保育の理論や制度	度の理解をもとに、教育・保育(の展開に必要なア	セスメント方法や	で支援計画の立案	
	方法、教育・保育	可現場での実践的な支i	援方法を学ぶ。				
授業のねらい	内容は、特別支援教育・保育の歴史、インクルーシブ教育・保育の理念と意義、家庭や関連機関との連携をとりあげる。						
	特に、個々の特性や心身の発達に応じた援助や配慮につなげられるよう、障害や発達特性、日常生活での配慮や環境設定						
	の仕方、個別支援	受計画の立案、複合的:	なニーズへの対応等を学ぶ。				
	① 特別の支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。						
到達目標	② 特別の支援を必要とする子どもに対する教育課程、支援の方法を理解する。						
	③ 多言語環境や貧困等、障害はないが特別の教育的ニーズのある子どもの生活上の困難さ、対応の仕方を理解する。ま						
		でもの特性及び心身の					
評価基準	学習の手引き (理解度テスト・レポートテスト): 20%・修得確認: 50%・授業態度: 30%						
		県(合否)は専門学校(
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
	・成績評価が2り	人上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許						
関連科目	障害児保育、特別支援教育・保育概論 A						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	北越 知尋 実務経験 ○						
実務内容	(保育士、幼稚園	教諭一種、特別支援教	論)児童発達支援事業所に約 10	年従事。児童発達	達支援管理責任者	を務める。	

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	振り返り	修得確認の結果、前期の振り返りについて				
2	まとめ・修得確認	第1講のまとめについて				
3	まとめ・修得確認	第2講のまとめについて				

		医療保育科 - 3 年 - 特別支援教育・保育機論 B
4	まとめ・修得確認	第3講のまとめについて
5	まとめ・修得確認	第 4 講のまとめについて
6	まとめ・修得確認	第5講のまとめについて
7	まとめ・修得確認	第6講のまとめについて
8	まとめ・修得確認	第7講のまとめについて
9	まとめ・修得確認	第8講のまとめについて
10	総まとめ	単元ごとのワーク
11	総まとめ	単元ごとのワーク
12	総まとめ	単元ごとのワーク
13	総まとめ	単元ごとのワーク
14	修得確認	修得確認の結果、前期の振り返りについて
15	振り返り	振り返り、まとめ

					EMMETT 0	十 大日/1米川/1	
			シラバス				
	科目の基礎情報①						
授業形態	講義	科目名		実習対策Ⅲ A	1		
必修選択	選択	(学則表記)		実習対策Ⅲ A	1		
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		2	30	
使用教材	施設実習パーフョ	ニ クトガイド		出版社	ナツメ社		
	•		科目の基礎情報②				
授業のねらい	就職を見据えた事	ミ習を行い、保育者に:	なるための技術を身につける。				
到達目標	実習生に必要な	子どもの興味を引き、子どもの発達段階に合わせたねらいに沿った指導案を作成できる。 実習生に必要な「話す・動く・書く・作る」技術を身につけ、実践することができる。 自分に必要な課題を明確にし、改善しようとすることができる。					
評価基準	提出物・指導案・	提出物・指導案・実習に必要な作品:40% 授業態度:40% テスト:20%					
認定条件		出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者					
関連資格	保育士資格・幼科	保育士資格・幼稚園教諭免許					
関連科目	実習対策 I A・B、	実習対策 I A・B、実習対策 II A・B、実習対策 III B					
備考	原則、この科目に	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	國田 春名 実務経験 〇						
実務内容	幼稚園教諭9年						

回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	・授業の目的と必要な授業参加態度などについて ・3年次実習について			
2	実習基礎知識の確認	・3年次実習の目標について ・実習日誌の書き方、専門用語の確認について ・指導案作成の手順と留意点について ・部分実習指導案・全日実習指導案を作成			
3	同上	同上			
4	同上	同上			
5	同上	同上			

		医療保育科 - 3 年 - 実習対策Ⅲ A
6	施設実習の理解	・施設の種別ごとの特徴、一日の生活の流れの理解について ・障がいの特性と関わり方、配慮店について ・実習内容、実習日誌の書き方について
7	同上	同上
8	同上	同上
9	実習準備	・名札など実習に必要なものの再確認 ・子どもたちの興味をひくための導入・主活動の発表と実践 ・朝の会や帰りの会の進行について ・お誕生日会など全園児の前でできる保育について ・道具がなくてもすぐにできる遊びについて ・廃材などを使った製作について
10	同上	同上
11	同上	同上
12	同上	同上
13	同上	同上
14	テスト	・期末テストの実施
15	総まとめ	・前期に学んだことの振り返りと総まとめ

			シラバス			
料目の基礎情報①						
授業形態	講義	科目名		実習対策Ⅲ B	}	
必修選択	選択	(学則表記)		実習対策Ⅲ B	3	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	施設実習パーフェ	- クトガイド		出版社	ナツメ社	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	就職を見据えたま	ミ習を行い、保育者に	なるための技術を身につける。			
到達目標	実習生に必要な	子どもの興味を引き、子どもの発達段階に合わせたねらいに沿った指導案を作成できる。 実習生に必要な「話す・動く・書く・作る」技術を身につけ、実践することができる。 自分に必要な課題を明確にし、改善しようとすることができる。				
評価基準	提出物・指導案・	提出物・指導案・実習に必要な作品:40% 授業態度:40% テスト:20%				
認定条件		出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚					
関連科目	実習対策 I A・B、	実習対策IA·B、実習対策IIA·B、実習対策IIIA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	國田 春名 実務経験 〇					
実務内容	幼稚園教諭9年					

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	実習の振り返りと保育現場の理解	・各実習の振り返り ・施設実習で理解した種別ごとの特性や一日の生活の流れについて ・各実習先で出会った特別な支援が必要な子どもの現状と学んだ関わり方について			
2	同上	同上			
3	同上	同上			
4	同上	同上			
5	同上	同上			

		医療休月科 - 3 平 - 美百刈泉Ⅲ D
6	卒業後に向けての準備①	・現在の保育現場を取り巻く社会問題や課題について・季節の行事の由来を理解し、保育発展の方法について・園の行事について実践・モンテッソーリ教育や、シュタイナー教育、ピラミッドメソッドなど多様な保育実践について
7	同上	同上
8	同上	同上
9	同上	同上
10	同上	同上
11	卒業後に向けての準備②	・自分自身の就職先、または受験希望先に合わせて、必要な準備について ・4月から社会人として仕事をする上で必要な常識や専門的知識について ・4月から保育現場で使用する予定のものの作成
12	同上	同上
13	同上	同上
14	期末テスト	・期末テストの実施
15	総まとめ	・1年間学んだことの総まとめ

			> = -3 -	EW MILLI	34 1299	
			シラバス			
			科目の基礎情報① 			
授業形態	講義	科目名	子	どものプログラミ	ミングA	
必修選択	選択	(学則表記)	子	どものプログラミ	ミングA	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	ICT を使って保育	を豊かに		出版社	中央法規出版株:	式会社
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育士として身近	íな ICT 機器を一つの	道具として活用する方法を知る	ı		
加朱口栖	高度情報化社会の進展の中で、保育実践における ICT 活用実例を具体的に考察する。					
到達目標	子どもの経験を主体的・対話的にすることができる。					
評価基準	授業態度:60%	授業態度:60% 小テスト:40%				
=27 ch ch //	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
認定条件	・成績評価が2り	人上の者				
関連資格						
関連科目	関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	竹林 裕太					
実務内容	2016年より㈱アスクリエイト運営のプログラミングスクールにて、設計・運営の責任者を担当					
				251 1152 66	15.W - D - 13.T 1	

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	初回ガイダンス	授業の目標、到達目標			
2	ICT 活用の現状	子どもの育ちを豊かにする視点			
2	101 泊州の現仏	保育実践における ICT メディアとアプリ活用で生まれる効果			
3	 ICT 活用実例 1 気づく・知る	ICT 機器により得られた「気づき」			
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	3 101 泊州美別 1 xt ノベ・州る	ICT 機器の介在がもたらした別の見方(視点)			
4	同上	子どもの思いに寄り添った保育者の援助			
5	ICT 活用実例 2探求する	活動や経験をつなぎ発展させる			
6	同上	関わり、気づき、「もっと」につながる			

		医療保育科・3 年・十とものプログラミングA
7	ICT 活用実例 3表す・没入する	「表したい」「やってみたい」を形に
8	ICT 活用実例 4伝える・対話する	対面とオンラインの組み合わせ
9	同上	子ども自身が興味・関心から情報を取り込む
10	保護者と園をつなぐ	ICT 機材と通信回線を利用して、できることを考える
11	園と地域の輪を広げる	連携ツールとしての ICT 活用事例、必要とされる法令順守
12	業務改善	保育の場での業務改善と ICT 活用
13	国際的な動向	様々な調査データからみるデジタルの動向
14	テスト	前期テスト
15	総まとめ	テストの振り返り、デジタル化における保育の未来へのデザイン

	シラバス					
科目の基礎情報①						
授業形態	講義 科目名 子どものプログラミング B					
必修選択	選択	(学則表記)	子と	ごものプログラミ	ミングB	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	Scratch で楽しむ	プログラミングの教科	書	出版社	SB クリエイティ	ブ株式会社
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	Scratchを使ってプログラミングを行うことにより、論理的思考力を習得する					
到達目標	プログラミングに必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動を行う					
評価基準	授業の成果物、テスト					
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者					
関連資格	アンパスリー					
関連科目						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	竹林 裕太					
実務内容	2016年より㈱アスクリエイト運営のプログラミングスクールにて、設計・運営の責任者を担当					

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1	オリエンテーション	授業の目的、到達目標、Scratch の基本操作		
2	プログラムの作り方	順番に処理を並べる		
3	繰り返し	繰り返しのスクリプト		
4	条件分岐	条件によって動きを分ける		
5	当たり判定	当たり判定		
6	スプライトの向きと角度	演算、調べる、制御		

		医療保育科 - 3 年 - 子どものプログフミング B
7	音の再生	条件分岐の細分化
8	座標	座標の考え方
9	コスチュームの変え方	スプライトの見た目を変える
10	変数を使った処理	変数の使い方
11	クローン	クローンの動かし方
12	実践①	ゲームを作成、成果物作成
13	実践②	ゲームを作成、成果物作成
14	テスト	テスト
15	総まとめ	成果物発表、振り返り、総まとめ

シラバス						
科目の基礎情報①						
授業形態	実技 科目名 子どもの音楽III A					
必修選択	選択 (学則表記) 子どもの音楽III A					
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	30
使用教材	①子どものための	の音楽表現技術ー感性	と実践力豊かな保育者へ ②ポ	出版社	①萌文書林	
(C/135CP)	ケットいっぱい <i>の</i>	りうた			②教育芸術社	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	ピアノ弾き歌いの技能を向上させながら、保育現場での音楽活動において必要とされる音楽表現技術を習得する。					
	ピアノ弾き歌い、	コード伴奏付け、読	譜、初見奏などの演奏技術を実践	践的に行うことが [.]	できる。	
到達目標	保育現場で必要な子どもの歌のレパートリーを身に付け、実践することができる。					
習得した技術を、豊かな音楽表現活動の支援に生かすことができる。						
評価基準	修得確認 40% 課題 20% 小テスト 20% 授業態度 20%					
>>> タル	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
認定条件						
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許					
関連科目	子どもの音楽 I A・B、子どもの音楽 II A・B					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	渡辺 淳子 実務経験 〇			0		
生教中应	愛知ムジカ少年少女合唱団にて指導者・伴奏者 5 年勤務、㈱宮地楽器にてヤマハ音楽教室ピアノ講師 5 年勤務					
実務内容	(㈱ヨコオ・ミュージックにてクラシックピアノ演奏者 5 年間勤務					

各回の展開				
回数	単元	内容		
1	園生活の歌 コード奏	・今まで学んだ園生活の歌の復習、ハ・ヘ・ト長調主要三和音のコード奏について		
2	園生活の歌 コード奏	同上		
3	季節の歌(春)・コード奏 ピアノの技能	・春の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、ハ・ヘ・ト・ニ・変ロ長調主要三和音のコード奏、スタッカートとテヌートについて ・1~4回目小テスト		
4	行事の歌(春)・コード奏 ピアノの技能	同上		

		医療保育科 - 3 年 - 子どもの音楽Ⅲ A
5	季節の歌(梅雨)・コード奏 ピアノの技能	・梅雨の時期の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、様々な分散和音によるコード奏、三連符の読譜と奏法、ペダルの用法について ・5~8 回目小テスト
6	季節の歌(梅雨)・コード奏 ピアノの技能	同上
7	行事の歌(梅雨)・ピアノの技能	同上
8	行事の歌(梅雨)・ピアノの技能	同上
9	季節の歌(夏)・読譜の技能	・夏の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、複合拍子の曲の読譜と演奏について
10	季節の歌(夏)・読譜の技能	同上
11	行事の歌(夏)・コードの知識 ピアノの技能	・夏の行事の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、マイナーコードと副三和音について・9~12 回目小テスト
12	行事の歌(夏)・コードの知識 ピアノの技能	同上
13	定番の歌・コード奏 ピアノの技能	・定番の楽しい歌の読譜、歌唱、弾き歌い、副三和音のコードと用法について
14	修得確認	・課題曲ピアノ弾き歌いによる演奏発表
15	総まとめ	・テストの振り返りと総まとめ

			シラバス			
科目の基礎情報①						
授業形態	実技	科目名		子どもの音楽Ⅲ	В	
必修選択	選択	(学則表記)		子どもの音楽III	В	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	30
使用教材	①子どものための	の音楽表現技術ー感性	と実践力豊かな保育者へ ②ポ	出版社	①萌文書林	
使用获利	ケットいっぱいの	りうた			②教育芸術社	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	 ピアノ弾き歌い <i>の</i>)技能を向上させなが	ら、保育現場での音楽活動におい	いて必要とされる	音楽表現技術を習	習得する。
	ピアノ弾き歌い、	コード伴奏付け、読	譜、初見奏などの演奏技術を実践	践的に行うことが	できる。	
到達目標	保育現場で必要な	ょ子どもの歌のレパー	トリーを身に付け、実践するこ	とができる。		
	習得した技術を、	豊かな音楽表現活動	の支援に生かすことができる。			
評価基準	修得確認 40% 課	修得確認 40% 課題 20% 小テスト 20% 授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
心 化未什	・成績評価が2以上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚	生園教諭免許				
関連科目	子どもの音楽Ⅰ、子どもの音楽Ⅱ					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	渡辺 淳子 実務経験 〇					
宝	愛知ムジカ少年少女合唱団にて指導者・伴奏者 5 年勤務、㈱宮地楽器にてヤマハ音楽教室ピアノ講師 5 年勤務					
実務内容	(株)ヨコオ・ミュー	-ジックにてクラシッ	クピアノ演奏者 5 年間勤務			

		各回の展開
回数	単元	内容
1	季節の歌(秋)・コードの知識	・秋の行事の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、、ドミナントネーション、借用和音を含むコード奏、装
1	ピアノの技能	飾音の技法について
2	行事の歌(秋)・コード奏	
2	ピアノの技能	同上
	→ 如 少 回 动 」	・文部省唱歌のレパートリー、弾き歌い、オーギュメント、ディミニッシュの和音、色々なリズ
3	文部省唱歌・コード奏 ピアノの技能	ムの読み取りと演奏について
と アクの投帳	とアクの技能	・16~19 回目小テスト
4	文部省唱歌・コードの知識	
4	ピアノの技能	同上

		医療保育科・3 年・ 士ともの音楽III B
5	三段譜の歌・コード奏 ピアノの技能	・三段譜の歌の弾き歌い、経過和音を含むコード奏について
6	三段譜面の歌・コード奏 ピアノの技能	同上
7	季節の歌(クリスマス)・和声進行と 伴奏付け・ピアノの技能	・クリスマスの歌の読譜、歌唱、、弾き歌い、和声進行の知識とコード伴奏の作成法について・20~23 回目小テスト
8	季節の歌(クリスマス)・和声進行と 伴奏付け・ピアノの技能	同上
9	季節の歌(冬) 劇遊びにおけるピアノ奏	・冬の歌の読譜、歌唱、弾き歌い、音楽会、劇遊び等における伴奏、BGM 演奏について
10	行事の歌(冬) 劇遊びにおけるピアノ奏	同上
11	楽しい歌・アニメの歌 子どもの合奏と伴奏	・楽しい歌・アニメの歌の弾き歌い、子どもの楽器遊び、合奏のピアノ伴奏について
12	楽しい歌・アニメの歌 子どもの合奏と伴奏	同上
13	行事の歌(卒園式)	・卒園の歌の読譜、弾き歌いについて ・24~28 回目小テスト
14	修得試験	・課題曲によるピアノ弾き歌い演奏発表
15	総まとめ、振り返り	・テストの振り返りと総まとめ

						十 表下のてしれ
			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	実技	科目名		製作あそびA		
必修選択	選択	(学則表記)		製作あそびA		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	30
使用教材	なし			出版社		
			科目の基礎情報②			
157.344 1 2	子どもの各年齢の)発達をとらえ、年齢(に合わせた遊びの種類を学ぶと	共に教材研究や環境	没定、遊びのコ	□夫を考えながら
授業のねらい	実践技術の上達を	を目指していく				
	製作する事だけに	二満足せず、常に子ど	もたちが予想される姿を考えな	がら創意工夫をし、		
到達目標	子どもを惹きつけることが出来る					
	実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる					
評価基準	作品提出、発表:70% 授業態度:30%					
	・山産が総時間米	tn 2 An 2 N L to 2	*			
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者					
	・以順計画がてど	X上の有 				
関連資格	保育士資格・幼稚	生園教諭免許				
関連科目	子どもの造形表現	見A・B/表現指導法A	• B			
備考	原則、対面授業形式にて実施する					
担当教員	勝村 美由紀 実務経験 〇					
実務内容	幼稚園教諭約 12	年、保育士9か月、伊	呆育士養成校非常勤講師 5 年			

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	パネルシアターとは	パネルシアターの作り方、見せ方について			
2	個人ボード作成	発泡スチロール等で個人ボードを作成について			
3	短編(1) 下絵①	簡単なお話の作成に必要な下絵を作成について			
4	短編(1) 下絵②	同上			
5	短編(1) 色塗り①	下絵の色塗りを実践			

	T	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
6	短編(1) 色塗り②	同上
7	短編(1) 色塗り③	パネル人形を切り取り、接着剤で貼り付けを実践
8	短編(1) 指導案作成	完成したパネルの指導案の作成について
9	短編(1) 練習	パネル発表の練習を実践
10	短編(1) 発表	パネルの発表を実践
11	マジックスクリーン	製作の説明、材料研究・構成について
12	同上	同上
13	マジックスクリーン	製作・実践方法について
14	牛乳パック①カスタネット	製作の説明、材料研究・構成を考え制作を実践
15	牛乳パック①カスタネット	製作・完成後グループで歌に合わせ発表

					14	ZWWULL 0	十 表下のてしょ
接業形態 実技 科目名 製作あそびB 製作あそびB 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関連 関				シラバス			
 必修選択 選択 (学則表記) 製作あそびB 開講 単位数 時間数 年次 3年 学科 医療保育科 1 30 使用数材 なし 出版社 移目の基礎情報② 子どもの各年齢の発達をとらえ、年齢に合わせた遊びの権類を学ぶと共に教材研究や環境設定、遊びの工夫を考えながら実践技術の上達を目指していく 製作する事だけに満足せず、常に子どもたちが予想される姿を考えながら創意工夫をし、子どもを惹きつけることが出来る実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる 評価基準 作品提出、発表:70% 授業態度:30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者 関連資格 保育土資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○ 				科目の基礎情報①			
# は	授業形態	実技	科目名		製作あそびB		
	必修選択	選択	(学則表記)		製作あそびB		
世界教材 なし お目の基礎情報② 子どもの各年齢の発達をとらえ、年齢に合わせた遊びの種類を学ぶと共に教材研究や環境設定、遊びの工夫を考えながら実践技術の上達を目指していく 製作する事だけに満足せず、常に子どもたちが予想される姿を考えながら創意工夫をし、子どもを惹きつけることが出来る実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる 評価基準			開講			単位数	時間数
	年次	3年	学科	医療保育科		1	30
授業のねらい	使用教材	なし			出版社		
授業のねらい 実践技術の上達を目指していく 製作する事だけに満足せず、常に子どもたちが予想される姿を考えながら創意工夫をし、 子どもを惹きつけることが出来る 実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる 評価基準 作品提出、発表:70% 授業態度:30% ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○				科目の基礎情報②			
実践技術の上達を目指していく 製作する事だけに満足せず、常に子どもたちが予想される姿を考えながら創意工夫をし、 子どもを惹きつけることが出来る 実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる 評価基準 作品提出、発表:70% 授業態度:30% ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○	TT W O L	子どもの各年齢の)発達をとらえ、年齢	に合わせた遊びの種類を学ぶと	共に教材研究や環境	設定、遊びのコ	三夫を考えながら
到達目標 子どもを惹きつけることが出来る 実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる 評価基準 作品提出、発表:70% 授業態度:30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○	技業のねらい	実践技術の上達を	と目指していく				
実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる 評価基準 作品提出、発表:70% 授業態度:30% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○		製作する事だけに	二満足せず、常に子ど	もたちが予想される姿を考えな	がら創意工夫をし、		
評価基準 作品提出、発表: 70% 授業態度: 30% ・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○	到達目標	子どもを惹きつけることが出来る					
・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験		実際の現場を想定した発表を行うことで、より子どもたちに伝わるように演じることができる					
認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○	評価基準	作品提出、発表:	作品提出、発表:70% 授業態度:30%				
・成績評価が 2 以上の者 関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許 関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B 備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験		・出席が総時間数	 女の3分の2以上ある	 者			
関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B	認定条件	・成績評価が 2 以	以上の者				
関連科目 子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B	問本次-校	/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	七国				
備考 原則、対面授業形式にて実施する 担当教員 勝村 美由紀 実務経験 ○			主图狄朗允计				
担当教員 勝村 美由紀 実務経験 〇	関連科目	子どもの造形表現 A・B/表現指導法 A・B					
	備考	原則、対面授業形式にて実施する					
実務内容 幼稚園教諭約 12 年、保育士 9 か月、保育士養成校非常勤講師 5 年	担当教員	勝村 美由紀 実務経験 〇					
	実務内容	幼稚園教諭約 12	年、保育士9か月、伊	R育士養成校非常勤講師 5 年			

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	ペットボトルアート	製作の説明、材料研究・構成を考え制作を実践			
2	ペットボトルアート	製作・完成品を発表			
3	ステンドグラス製作	製作の説明、材料研究・構成を考え制作を実践			
4	ステンドグラス製作	製作・完成品を発表			
5	季節の立体製作	その時期の季節に合わせた立体製作の構成を考え制作を実践			

6	季節の立体製作	製作・完成品を発表
7	マジックシアター①	子ども向きのマジックの種類を知り、グループに分かれて実践
8	マジックシアター②	子ども向きのマジックの種類を知り、グループに分かれて実践
9	六角返し	製作の説明を受け、材料研究・構成を考え制作を実践
10	六角返し	製作・完成品を発表
11	お店屋さんごっこ製作	園行事≪お店やさんごっこ≫について
12	お店屋さんごっこ製作	製作
13	お店屋さんごっこ製作	製作
14	お店屋さんごっこ準備・買い物	完成・お店の準備・売り買いを実践
15	総まとめ	振り返りと総まとめ

			シラバス			
科目の基礎情報①						
授業形態	講義	科目名		子どもの医療	A	
必修選択	選択	(学則表記)		子どもの医療	A	
		開講			単位数	時間数
年次	3 年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	子ども外来ケア			出版社	へるす出版	
			科目の基礎情報②	•		
授業のねらい	・子どもによく見	しられる症状を理解し、	小児科受診の目安を知る。			
到達目標	・保育現場での子どもの体調管理とその対応を述べることができる。					
評価基準	修得確認 50% 授業態度 30% ワークシート 20%					
認定条件	・出席が総時間数・成績評価が 2 以	対の 3 分の 2 以上ある: 以上の者	者			
関連資格						
関連科目	子どもの保健、子どもの体のしくみ、小児医療					
備考	原則、この授業は対面形式にて実施する					
担当教員	沼田 千晶	•		実務経験		0
実務内容	札幌北楡病院 外	来・外科病棟に6年、	看護師として従事。			

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1	はじめに	授業の流れと到達目標、評価基準について		
		子どもによく見られる症状の種類について		
2	発熱、咳	発熱、咳について		
3	鼻汁	鼻汁について		
4	頭痛	頭痛について		
5	腹痛	腹痛について		
6	嘔吐	嘔吐について		

		医療保育科・3 年・ 十ともの医療A
7	下痢	下痢について
8	便秘	便秘について
9	皮疹①アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎について
10	皮疹②疾患に伴う皮疹	疾患に伴う皮疹の特徴やその違いについて
11	夜尿	夜尿について
12	肥満	肥満について
13	血尿、血便	血尿、血便について
14	修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

	シラバス						
科目の基礎情報①							
授業形態	講義	科目名		子どもの医療	В		
必修選択	選択	(学則表記)		子どもの医療	В		
	開講単位数時間				時間数		
年次	3年	学科	医療保育科	_	1	15	
使用教材	子ども外来ケア			出版社	へるす出版		
	科目の基礎情報②						
授業のねらい	・予防接種につい	・予防接種について理解する。					
到達目標	・予防接種の効果	・予防接種の効果と接種時期を述べることができる。					
評価基準	修得確認 50% 授	修得確認 50% 授業態度 30% ワークシート 20%					
認定条件		・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
	・成績評価が2以上の者						
関連資格							
関連科目	子どもの保健、子どもの体のしくみ、小児医療						
備考	原則、この授業は対面形式にて実施する						
担当教員	沼田 千晶 実務経験 〇						
実務内容	札幌北楡病院 外	札幌北楡病院 外来・外科病棟に6年、看護師として従事。					

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	予防接種の必要性と種類について	免疫のしくみと予防接種の必要性や種類について				
1	4 種混合ワクチン(DPT-IPV)	4種混合ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて				
2	肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて				
3	ヒブ(Hib;インフルエンザ菌 b 型)	ヒブワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて				
3	ワクチン	こ ノ ノ ノ ノ ノ ノ リ り ここ る 大志 こ 技(性 ハ ノ ノ エ) ル に フ い・ こ				
4	BCG ワクチン	BCG ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて				
5	日本脳炎ワクチン	日本脳炎ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて				
6	B 型肝炎ワクチン	B 型肝炎ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて				

		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
7	ロタウイルスワクチン	ロタウイルスワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
8	MR(麻しん風しん混合)ワクチン	MR ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
9	水痘ワクチン、おたふくかぜワク チン	水痘ワクチン、おたふくかぜワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
10	インフルエンザワクチン(小児)	インフルエンザワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
11	A 型肝炎ワクチン、狂犬病ワクチン	A 型肝炎ワクチン、狂犬病ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
12	髄膜炎菌ワクチン	髄膜炎菌ワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
13	ヒトパピローマウイルス(HPV)ワ クチン	ヒトパピローマウイルスワクチンで予防できる疾患と接種スケジュールについて
14	後期修得確認	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス						
科目の基礎情報①						
授業形態	講義	科目名	Ŧ	ャイルドプロデュ	Lース A	
必修選択	必修	(学則表記)	チ	ャイルドプロデュ	LースA	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	_	1	15
使用教材	なし			出版社		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育の学びの集力	保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。				
到達日柵	園での行事を企画し、指導案を書くことができる。					
到達目標 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。				: る。		
評価基準	指導案、提出物:60%・授業参加の姿勢、態度:40%					
・出席が総時間数の3分の2以上ある者認定条件						
心 龙朱什	・成績評価が2以上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許					
関連科目	実習対策 ・ ・					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	勝村 美由紀	勝村 美由紀 実務経験 〇				
実務内容	幼稚園教諭約 12	年、保育士9か月、伊	R育士養成校非常勤講師 5 年			

各回の展開							
回数	単元	内容					
1	オリエンテーション	教科のねらい、評価基準、求められる授業姿勢について					
2	【園行事の企画】 指導案の作成	春に子ども達と楽しむことができるイベントの内容と演出を考え、指導案のポイントについて学ぶ					
3	模擬保育準備①	必要な道具や材料について					
4	模擬保育準備②	個人指導案の清書、提出について グループで園行事の模擬保育の準備について					
5	模擬保育①	グループで園行事の模擬保育の準備について					

		医療保育科 - 3 年 - チャイルトフロテュースA
6	模擬保育②	グループで園行事の模擬保育の準備について
7	模擬保育③	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
8	模擬保育④	園行事の模擬保育を実践する
9	模擬保育⑤	園行事の模擬保育を振り返る
10	【園行事の企画】 指導案の作成	夏に子ども達と楽しむことができるイベントの内容と演出を考え、指導案のポイントについて学ぶ
11	模擬保育準備	必要な道具や材料について
12	模擬保育①	グループで園行事の模擬保育の準備について
13	模擬保育②	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
14	模擬保育③	園行事の模擬保育を実践する
15	模擬保育④	園行事の模擬保育を振り返る

科目の基礎情報① 授業形態 講義 料目名 グラック (学則表記) チャイルドプロデュース B 財講 単位数 時間 年次 3年 学科 医療保育科 1 1 使用教材 なし 出版社 授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 関での行事を企画し、指導案を書くことができる。保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>						
必修選択 必修 (学則表記) チャイルドプロデュース B 開講 単位数 時間 年次 3年 学科 医療保育科 1 1 使用教材 なし 出版社 授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 関での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。							
開講 単位数 時間 年次 3年 学科 医療保育科 1 1 使用教材 科目の基礎情報② 授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 到達目標 関での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	科目名 チャイルドプロデュースB	科目名	講義	授業形態			
年次 3年 学科 医療保育科 1 1 授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 到達目標 関での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	(学則表記) チャイルドプロデュースB	(学則表記)	必修	必修選択			
使用教材 なし 出版社 科目の基礎情報② 授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 園での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	開講 単位数 時間数	開講					
科目の基礎情報② 授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 園での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	学科 医療保育科 1 15	学科	3年	年次			
授業のねらい 保育の学びの集大成として、保育者1年目を想定した学びを深める。 園での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	出版社		なし	使用教材			
到達目標 関での行事を企画し、指導案を書くことができる。 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	科目の基礎情報②						
到達目標 保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	として、保育者1年目を想定した学びを深める。	保育の学びの集っ	授業のねらい				
保育技術や行事の運営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	指導案を書くことができる。	到/幸 日 恒					
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	営技術を身に付け保育者(社会人)1年目の自分の姿を想定した、必要な準備ができる。	判连口憬					
計圖基件 指导采、促山初・00/0・技术参加の安务、忠反・40/0	%・授業参加の姿勢、態度:40%	評価基準					
・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件		司中名件					
・成績評価が2以上の者	の者	心					
関連資格 保育士資格・幼稚園教諭免許	收諭免許	関連資格					
関連科目実習対策 ・ ・		関連科目					
備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する	ー 面授業形式にて実施する	備考					
担当教員 勝村 美由紀 実務経験 〇	実務経験	勝村 美由紀	担当教員				
実務内容 幼稚園教諭約 12 年、保育士 9 か月、保育士養成校非常勤講師 5 年	保育士 9 か月、保育士養成校非常勤講師 5 年	年、保育士 9 か月、	幼稚園教諭約 12	実務内容			

回数	単元	内容					
1	オリエンテーション	教科のねらい、評価基準、求められる授業姿勢について					
2	【園行事の企画】 指導案の作成	秋・冬に子ども達と楽しむことが出来る行事の内容と演出を考え、指導案のポイントについて学ぶ					
3	模擬保育準備①	誕生会企画について 必要な道具や材料について					
4	模擬保育準備②	個人指導案の清書、提出について グループで園行事の模擬保育の準備について					
5	模擬保育①	グループで園行事の模擬保育の準備について					

		医療保育科 - 3 年 - チャイルドプロデュース B
6	模擬保育②	グループで園行事の模擬保育の準備について
7	模擬保育③	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
8	模擬保育④	グループで園行事の模擬保育の役割分担と流れについて
9	模擬保育⑤	園行事の模擬保育を実践する
10	模擬保育⑥	園行事の模擬保育を実践する
11	保育者1年目の準備総まとめ	保育者(社会人) 1 年目の自分に必要なまとめを行う。 提示された課題について 作成に必要な材料と情報について
12	同上	同上
13	同上	同上
14	同上	同上
15	同上	同上

シラバス							
授業形態	講義	講義 科目名 キャリアゼミナールIII A					
必修選択	選択	(学則表記)	+	・ャリアゼミナール	∕III A		
開講 単位数 時間数							
年次	3年	学科	医療保育科		1	15	
使用教材	改訂 保育学生の 学習の手引き	改訂 保育学生のための基礎学力演習					
科目の基礎情報②							
授業のねらい	保育者を目指すために必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。						
到達目標	実習や就職活動に必要な心構えや知識を身に付けることができる。 文書作成能力を伸ばし、正しい日本語でわかりやすく論理的な文章を書くことができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことができる。						
評価基準	テスト(修得確認):50%、授業態度:30%、提出物:20%						
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者						
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許						
関連科目	キャリアゼミナールIA/IB、キャリアゼミナールⅡA/ⅡB、キャリアゼミナールⅢB						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	國田 春名 実務経験 〇						
実務内容	幼稚園教諭9年	幼稚園教諭 9 年					

	各回の展開					
回数		内容				
オリエンテーション		オリエンテーション				
1	1年間の流れの確認、目標設定	社会人に向けて必要な力について				
2	12.1.77	求人票の見方について				
	求人票について	社会保険・手当等について				
3 同上 同上		同上				
4	実習に向けて	実習に向けての準備や心構えについて				
4	基礎学力演習	基礎学力演習手引きの補足、質疑応答				
5	同上	同上				

		医療保育科・3年・キャリアセミナールIII A
6	就職に向けて	就職先の種別や就職活動について 就職試験に必要な書類の準備、履歴書について
7	同上	同上
8	実習振り返り	実習について振り返る
9	同上	同上
10	就職に向けて 基礎学力演習	就職に向けての準備について 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答
11	同上	同上
12	実習について	実習のまとめ
13	前期 期末テスト	テストを実施する
14	就職に向けて	就職までの流れについて 採用試験について
15	前期総まとめ 基礎学力演習	テストの振り返りと総まとめを行う 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答

			シラバス	EWM11) e c) · wmb
			科目の基礎情報①			
	講義 科目名 キャリアゼミナール III B					
必修選択	選択	(学則表記)	+	テャリアゼミナール	VIII B	
	!	開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	改訂 保育学生の 学習の手引き	ための基礎学力演習		出版社	中央法規出版	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育者を目指すた	保育者を目指すために必要な基礎的教養や保育現場で必要とされる国語力、生活技術力を身に付ける。				
到達目標	実習や就職活動に必要な心構えや知識を身に付けることができる。 文書作成能力を伸ばし、正しい日本語でわかりやすく論理的な文章を書くことができる。 保育者に必要な基礎的マナーや教養を身に付け、TPO に応じて振舞うことができる。					
評価基準	テスト(修得確認):50%、授業態度:30%、提出物:20%					
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者					
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭免許					
関連科目	キャリアゼミナール A、キャリアゼミナール B、キャリアゼミナール A/ B、キャリアゼミナール A					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	國田 春名 実務経験 〇			0		
実務内容	幼稚園教諭 9 年					

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	オリエンテーション 就職活動に向けて	採用試験に向けて必要書類の確認について 面接練習について 筆記試験に向け、保育の基礎的内容の確認について				
2	同上	同上				
3	同上	同上				
4	同上	同上				

		医療保育科・3 平・キャリアセミアールⅢ B
5	就職活動に向けて 社会人に向けて 基礎学力演習	採用試験に備えて準備と面接練習について実践 さまざまな子どもとの関わりについて実習での事例を発表する 社会人に向けて必要なことについて 基礎学力演習手引きの補足、質疑応答
6	同上	同上
7	同上	同上
8	社会人に向けて	子どもの対応の事例について 保護者対応や、連絡帳の記載の仕方、園だよりの作成の仕方について
9	同上	同上
10	同上	同上
11	社会人に向けて	保育の知識と技術について 3 年間の学びを振り返る 保育現場の課題について
12	同上	同上
13	後期 期末テスト	テストを実施
14	社会人に向けて	就職研修について
15	総まとめ	テストの振り返りと3年間の学びについて

			シラバス				
			科目の基礎情報①				
授業形態	講義	講義 科目名					
必修選択	選択	(学則表記)		医療事務 II A	1		
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科		2	30	
/ = = */-++	①診療報酬点数學	早見表②早見表③医事	テキスト一式④調剤テキスト	11. HC 7T	①⑥医学通信社	②③ユアサポー	
使用教材	一式⑤介護テキス	ストー式⑥窓口事務必	携ハンドブック	出版社	ト45日本医療	事務協会	
			科目の基礎情報②				
哲学のわらし	・保険薬局におけ	ける調剤事務員の役割	を理解する ・介護保険のしくみ	*、介護サービス(の内容を理解する	・公費等の知識	
授業のねらい	を習得する						
刘泽口栖	・調剤事務員の役割、介護保険のしくみや介護サービスの内容を述べることが出来る ・調剤検定・介護検定に合格するこ						
到達目標	とが出来る 公費等の知識を述べることが出来る						
	評価テスト 50%						
評価基準	提出物 30%						
	授業態度 20%						
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者						
	成績評価が2以上の者						
関連資格	・介護報酬請求事務技能検定 ・調剤薬局事務検定						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	出口 弥寿子 実務経験 〇						
実務内容	病院(レセプト点検業務)						
	<u> </u>			7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1			

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	2年の復習	・外来レセプト作成(カルテ問題集、医療事務検定 2 級の過去問題)				
2	2 介護報酬 ・介護保険制度のしくみ					
3	介護保険	・居宅レセプト作成				
4	介護報酬	・居宅レセプト作成				
5	介護報酬	・居宅レセプト作成				

		医療保育性・3 年・医療事務Ⅱ A
6	介護報酬	・居宅レセプト作成
7	介護報酬	・居宅レセプト作成
8	介護報酬	・施設レセプト作成
9	介護報酬	・施設レセプト作成
10	介護報酬	・施設レセプト作成
11	介護報酬	・施設レセプト作成
12	公費負担医療制度	·生保、原爆、特定疾患等
13	公費負担医療制度	・子ども医療証、障害者、ひとり親家庭医療証
14	労災・自賠責・後期高齢者医療制度	・労災、自賠責、後期高齢者医療制度
15	公費負担医療制度、労災、自賠責等	・小テスト(生保、原爆、特定疾患、自賠責、労災等)

授業形態 講義 必修選択 選択	科目名 (学則表記) 開講	科目の基礎情報①	医療事務 B			
	(学則表記)		医療事務 II B	1		
必修選択 選択	(
	開講		医療事務 II B			
				単位数	時間数	
年次 3年	学科	医療保育科		2	30	
①診療報酬点数早 使用教材	見表②早見表③医事	テキスト一式④調剤テキスト	出版社	①⑥医学通信社	②③ユアサポー	
	トー式⑥窓口事務必須	頁ハンドブック 	HIMIT	ト45日本医療 ^薬	事務協会	
		科目の基礎情報②				
・保険薬局におけ	る調剤事務員の役割で	を理解する ・介護保険のしくみ	*、介護サービス(の内容を理解する	・公費等の知識	
を習得する						
・調剤事務員の役 到達目標	・調剤事務員の役割、介護保険のしくみや介護サービスの内容を述べることが出来る ・調剤検定・介護検定に合格するこ					
	とが出来る 公費等の知識を述べることが出来る					
評価テスト 50%	評価テスト 50%					
評価基準 提出物 30%						
授業態度 20%	授業態度 20%					
出席が総時間数の 認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者					
成績評価が2以上	成績評価が2以上の者					
関連資格・介護報酬請求事	· 介護報酬請求事務技能検定 · 調剤薬局事務検定					
関連科目						
偏考 原則、この科目は	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員 出口 弥寿子	出口 弥寿子 実務経験 〇					
実務内容病院(レセプト点	病院(レセプト点検業務)					

	各回の展開					
回数	単元	内容				
1	調剤報酬	・保険調剤のしくみ、保険調剤の実務、処方箋の見方				
2	調剤報酬	・内服薬1剤の考え方、薬剤料の計算(P.191 練習問題使用)				
3	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成				
4	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成				
5	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成				

		医療休月性 * 3 + * 医療事份Ⅱ D
6	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
7	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
8	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
9	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
10	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
11	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
12	調剤報酬	・点数の解釈、調剤録・レセプトの作成
13	調剤報酬	・3月調剤検定対策
14	調剤報酬	・3月調剤検定対策
15	調剤報酬	・3月調剤検定対策

			シラバス		付 3 年 区争口		
科目の基礎情報①							
授業形態	演習	科目名	医	事コン・電子カ	ルテA		
必修選択	選択	(学則表記)	医	事コン・電子カ	ルテA		
		開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	医療保育科	·	1	30	
使用教材	コンピュータ入力	フ練習用「カルテ例題:	集」	出版社	ケアアンドコミ	ュニケーション	
(A) 13 4 A 13	診療報酬点数表、	医療事務テキストⅡ、	早見表	Ш/М.С.	医学通信社	<u>:</u>	
			科目の基礎情報②				
授業のねらい	医療機関における	る医療事務コンピュー:	タの役割と活用性を理解する。				
32216 1 100 2 1	医事会計システム	」・電子カルテシステ.	ムの操作方法を習得する。				
	医療事務コンピ <i>=</i>	ュータの役割と必要性	を説明できるようになる。				
到達目標	コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。						
	電子カルテの基礎	逆的な入力ができるよ	うになる。				
評価基準	テスト:70% 出欠席及び授業態度:30%						
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者						
心足术目	・成績評価が2り	以上の者					
関連資格	医事コンピュータ技能検定試験 3級						
関連科目	医療事務						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する						
担当教員	柴田美佐 実務経験 〇						
実務内容	診療所・病院(受付・会計・請求事務)						

	各回の展開					
回数 単元 内容		内容				
1	・医事CPの授業目的	・医療機関における医事CPの役割と活用性				
1	・概要説明 ・C P 基本操作	・システムの起動・終了操作、USBの取り扱い				
2	外来患者入力①	患者登録・病名までの入力				
3	外来患者入力②	診察料・医学管理までの入力				
4	外来患者入力③	投薬・do・注射までの入力				
5	外来患者入力④	処置・麻酔・手術までの入力				

		医療休月性・3 サー 医争コン・电丁ガル / A
6	外来患者入力⑤	検査・病理・画像診断までの入力①
7	外来患者入力⑥	検査・病理・画像診断までの入力②
8	外来患者入力⑦	検査・病理・画像診断までの入力③
9	外来患者入力⑧	検査・病理・画像診断までの入力④
10	テスト	テスト実施(問題は各校にて作成)
11	外来患者入力⑨	前期の振り返り
12	伝票形式入力①	外来の伝票形式の入力演習①
13	伝票形式入力②	外来の伝票形式の入力演習②
14	入院患者入力①	外来と入院の相違の入力①
15	入院患者入力②	外来と入院の相違の入力②

			シラバス	F-7/3/ 1/4/ 3	11 - 1 1-1	マ・电 リ カル / D
			科目の基礎情報①			
授業形態	演習	科目名	医	事コン・電子カ	ルテ B	
必修選択	選択	(学則表記)	医	事コン・電子カ	ルテ B	
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科	_	1	30
使用教材	コンピュータ入力	フ練習用「カルテ例題:	集」	出版社	ケアアンドコミ	ュニケーション
(A) (13A)	診療報酬点数表、	医療事務テキストⅡ、	早見表	H/I/C I	医学通信社	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	医療機関における	る医療事務コンピュー:	タの役割と活用性を理解する。			
325/2 1 /00 5 1	医事会計システム	」・電子カルテシステ.	ムの操作方法を習得する。			
	医療事務コンピ <i>=</i>	ュータの役割と必要性	を説明できるようになる。			
到達目標	コンピュータを用いて正しく請求を算定できるようになる。					
	電子カルテの基礎	逆的な入力ができるよ	うになる。			
評価基準	テスト:70% 出欠席及び授業態度:30%					
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
心足术目	・成績評価が2り	以上の者				
関連資格	医事コンピュータ	z技能検定試験 3級				
関連科目	医療事務					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	柴田美佐 実務経験 〇					
実務内容	診療所・病院(受	受付・会計・請求事務))			

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	入院患者入力③	入院患者入力演習① ※高齢患者の入力含む			
2	入院患者入力④	入院患者入力演習② ※高齢患者の入力含む			
3	入院患者入力⑤	入院患者入力演習③ ※高齢患者の入力含む			
4	入院患者入力⑥	入院患者入力演習④ ※高齢患者の入力含む			
5	入院患者入力⑦	入院患者入力演習⑤ ※高齢患者の入力含む			

		区療休月付・3 中・区争コノ・电丁ガル/ D
6	入院患者入力⑧	入院患者入力演習⑥ ※高齢患者の入力含む
7	テスト	テスト実施(問題は各校にて作成)
8	伝票形式入力③	入院の伝票形式の入力演習
9	伝票形式入力④	入院の伝票形式の入力演習
10	外来・入院患者演習	外来カルテの難易度の高い問題①
11	日報・月報・総括・マスター入力	入院カルテの難易度の高い問題①
12	外来・入院の振り返り	外来カルテの難易度の高い問題②
13	電子カルテ①	・電子カルテの基本操作 ・オーダリングシステムの役割 ・SOAPの意味 ・問診表の入力
14	電子カルテ②	カルテ入力(症状・所見・病名・投薬・注射・処置・検査・画像診断等)
15	電子カルテの振り返り	入院カルテの難易度の高い問題②

					WINDLILL O I	MILOUSTON
			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		病児のあそび A		
必修選択	選択	(学則表記)		病児のあそび A		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		2	30
使用教材	なし			出版社		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	病気や怪我で活動	かが制限される子ども	たちに楽しい時間を提供する方	法を考える		
到達目標	病気や怪我の子どもたちは状況が多種多様であることを理解できる 病気や怪我で活動が制限されるからこそ楽しめる遊びを想像し述べることができる 安全に配慮したグッズを丁寧に作ることができる					
評価基準	提出物(遊びリスト、デザイン画、振り返り)、製作物:60% 発表・授業態度:40%					
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者					
関連資格	保育士資格・幼稚園教諭免許					
関連科目	子どものメディカルサポートA・B、入院中の子どものケアA・B、病児保育A・B、病児のあそびB					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	中村 加奈子 実務経験 〇					
実務内容	保育士12年7ヵ	v月、保育士養成校専	任教員 3 年間勤務			

		各回の展開			
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション・車椅子の子 どものあそび【上肢に不自由がな い場合】	授業の流れ、評価基準、求められる授業姿勢について 【幼児期】車椅子に座り、上肢を使ってできる道具のいらないあそびについて			
2	車椅子の子どものあそび 【上肢に不自由がない場合】 【幼児期】 【学童期】	【学童期】車椅子に座り、上肢を使ってできる道具のいらない遊びについて 幼児期との違いや配慮、遊びの展開を考えて、ひとり遊びできるものと複数で遊べるものについ て			
3	同上	【幼児期】【学童期】上肢を使ってできる道具を使った遊びについて 幼児期と学童期それぞれのあそびについて実践			
4	同上	同上			

		医療保育科・3 年・病児のあてい A
	ベッドの上でのあそび	
	【座位ができる場合】	入院中の子どもたちの状態について(慢性疾患、怪我、喘息)
5	【幼児期】	【幼児期】【学童期】ベッド上、座位の状態で出来るあそびについて
	【学童期】	【乳児期】幼児期との違いや乳児ならではの配慮について
	【乳児期】	
6	同上	同上
7	同上	赤ちゃん用のおもちゃについて実践
8	同上	同上
9	同上	同上
10	同上	同上
11	治療を助けるあそび 【幼児期】	説明絵カードについて実践
12	同上	同上
13	同上	同上
	グループワーク	特別な支援が子どもの遊びについて
14	発表	製作物の発表について
15	総まとめ	これまでの総まとめ

					WIND O	MIL OW COD
			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		病児のあそび B		
必修選択	選択	(学則表記)		病児のあそび B		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		2	30
使用教材	なし			出版社		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	病気や怪我で活動	かが制限される子ども	たちに楽しい時間を提供する方	法を考える		
到達目標	病気や怪我で活動	病気や怪我の子どもたちは状況が多種多様であることを理解できる 病気や怪我で活動が制限されるからこそ楽しめる遊びを想像し述べることができる 安全に配慮したグッズを丁寧に作ることができる				
評価基準	提出物(遊びリスト、デザイン画、振り返り)、製作物:60% 発表・授業態度:40%					
認定条件		・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士資格・幼稚	保育士資格・幼稚園教諭免許				
関連科目	子どものメディカルサポートA・B、入院中の子どものケアA・B、病児保育A・B、病児のあそびA					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	中村 加奈子 実務経験 〇					
実務内容	保育士12年7ヵ	ッ月、保育士養成校専	任教員3年間勤務			

	日が下がっているとこれのとなって				
		各回の展開			
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の流れ、評価基準、求められる授業姿勢について			
1	ベッド上でのあそび	【乳児期】【幼児期】ベット上で寝たままできる遊びについて			
	ベッド上でのあそび				
2	【寝た状態でできること】	「何旧切」「小旧切」 **」 不停ナナナスモフ 牧がについて			
2	【乳児期】	【乳児期】【幼児期】ベット上で寝たままできる遊びについて			
	【幼児期】				
3	同上	視覚で楽しむ病室の装飾について実践			
4	同上	同上			
5	同上	同上			

		<u> </u>
6	同上	同上
7	病児のあそび 【どこででも】 【乳児期】 【幼児期】	診察室でも病室でも使える手袋シアターについて実践
8	同上	同上
9	同上	同上
10	同上	同上
11	病院内プレイルーム 【遊びの企画】 【幼児期】	プレイルームに来ることができる子どもたちについて
12	同上	同上
13	同上	同上
14	発表	プレイルームの発表について
15	総まとめ	振り返りと総まとめ

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		病児保育 A		
必修選択	選択	(学則表記)		病児保育 A		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	医療的配慮の必要	要な子どもの保育		出版社	中央法規	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	医療的ケアを受け	けていたり、慢性疾患の	のある子どもが、地域や保育園、	、幼稚園など様々	な環境の中で生活	舌できるように、
技术のねりい	保育者が必要な知	口識を身につけ、適切に	な対応や配慮が行えるようにす	る		
到達目標	病気について深く	病気について深く学び、医療的ケアを受けていたり、慢性疾患ののある子どもへの対応や支援する知識を身に付ける				
評価基準	修得確認:50%	修得確認:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
心化未什	・成績評価が2以上の者					
関連資格						
関連科目	子どものメディカルサポート A・B/入院中の子どものケア A・B/病児のあそび A・B/病児保育 B					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する					
担当教員	松島 晃子					
実務内容	保健師 30 年					

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業概要について			
2	第1部 医療的な配慮の必要な子ど もを受け入れるための基礎知識	情報の把握、保護者の心理と関わりについて			
3	第1部 医療的な配慮の必要な子ど もを受け入れるための基礎知識	医療的ケアについて、薬の知識や投薬について			
4	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	アレルギー(アトピー、食物アレルギー)について			
5	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	アレルギー(花粉症、喘息)について			
6	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	神経系の病気(てんかん)について			

		医療保育科·3 年· 納鬼保育 A
7	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	神経系の病気(脳性まひ)について
8	第2部 それぞれの病気の知識と保 育のときの配慮	聴覚障害(難聴)について
9	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	視覚障害(盲)について
10	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	視覚障害(弱視、白内障)について
11	第2部 それぞれの病気の知識と保 育のときの配慮	視覚障害(緑内障、斜視)について
12	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	腎臓の病気(糸球体腎炎、ネフローゼ症候群)について
13	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	ホルモンに関する病気 (低身長症) について ホルモンに関する病気 (思春期早発症) について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	振り返りと総まとめ

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		病児保育 B		
必修選択	選択	(学則表記)	病児保育 B			
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	医療的配慮の必要	要な子どもの保育		出版社	中央法規	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	医療的ケアを受け	けていたり、慢性疾患の	のある子どもが、地域や保育園、	、幼稚園など様々	な環境の中で生活	舌できるように、
1文末の4490・	保育者が必要な知	口識を身につけ、適切	な対応や配慮が行えるようにす	る		
到達目標	病気について深く学び、医療的ケアを受けていたり、慢性疾患ののある子どもへの対応や支援する知識を身に付ける					
評価基準	修得確認:50%	小テスト:30% 授業	態度:20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
心化木厂	・成績評価が 2 り	以上の者				
関連資格						
関連科目	子どものメディカ	コルサポート A・B/入	院中の子どものケア A・B/病児	のあそび A・B/症	氖児保育Β	
備考	原則、この科目に	は対面授業形式にて実	 施する			
担当教員	松島 晃子			実務経験		0
実務内容	保健師 30 年					

	各回の展開				
		古口ぐ成曲			
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業概要について			
1		医学知識の復習			
2	第2部 それぞれの病気の知識と保	ナルエンに関する存气(カーナー庁紀群)について			
育のときの配慮		ホルモンに関する病気(ターナー症候群)について			
3	第2部 それぞれの病気の知識と保	ホルモンに関する病気(糖尿病)について			
3	育のときの配慮				
4	第2部 それぞれの病気の知識と保	カ本の序写(特及性カル板選小性整斑序) / ついて			
4	育のときの配慮	血液の病気(特発性血小板減少性紫斑病)について			
5	第2部 それぞれの病気の知識と保	カ冻の守气 (カヤ守) 1- ヘレブ			
5	育のときの配慮	血液の病気(血友病)について			
6	第2部 それぞれの病気の知識と保	カンスの (手座の分布) にのして			
6	育のときの配慮	血液の病気(重度の貧血)について			

		应原床目付 3 升 ⁻ 州允床目 D
7	第2部 それぞれの病気の知識と保 育のときの配慮	がん(白血病)について
8	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	がん(脳腫瘍)について
9	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	がん(神経芽腫)について
10	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気(口唇裂、口蓋裂)について
11	第2部 それぞれの病気の知識と保 育のときの配慮	その他の病気(水頭症、二分脊椎症)について
12	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気(レックリングハウゼン病、アルビノ、ウィリアムズ症候群)について
13	第2部 それぞれの病気の知識と保育のときの配慮	その他の病気(低出生体重児)について その他の病気(ADHD)について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

			シラバス		P-/3/(N/-1.1.1.1	3年 有几色原 11
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		小児医療 A		
必修選択	選択	(学則表記)		小児医療 A		
		開講			単位数	時間数
年次	3 年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	小児科でよくみる	5症状・疾患ハンドブ	ック	出版社	照林社	
医用软材	※デジタル教材			LI NXTL		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	小児医療に携わる保育士として、必要な基礎知識を身につける					
到達目標	小児科医療現場で	での看護を学び、子ど	もの病気の診断と治療について	理解できる		
判廷口信	子どもの症状に対	付し、保育士として適	切な対応ができる			
評価基準	テスト:50% 提	出物:30% 授業態度	: 20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
沁 龙宋什	・成績評価が 2 り	以上の者				
関連資格						
関連科目	子どもの医療IA	/B、子どもの保健 A/	B、子どもの体のしくみ A/B			
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する					
担当教員	井瀬 桂子			実務経験		0
実務内容	北海道内の病院の)手術室 内科 透析室	等に約 20 年間従事する			

		各回の展開
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方・到達目標について
2	子どもの発育・発達と健診	発達と発育・健診・子育て支援について
3	予防接種	種類・スケジュール・接種に関する事故について
4	発熱①	外来看護のポイントについて
5	発熱②	エンテロウイルス感染症・アデノウイルス感染症・ヘルペスウイルス感染症・突発性発疹 EB ウイルス感染症・インフルエンザ・溶連菌感染症について

		医療保育科 · 3 平 · 小児医療 A
6	発熱③	急性中耳炎・尿路感染症・川崎病について
7	咳、喘鳴、呼吸困難	かぜ症候群・鼻副鼻腔炎・クループ症候群・RS ウイルス感染症・マイコプラズマ感染症 細菌性肺炎・百日咳・気道異物について
8	嘔吐、下痢	胃腸炎(細菌性、ウイルス性)・アセトン周期性嘔吐症・肥厚性幽門狭窄症について
9	腹痛	便秘・心因性腹痛・腸重積・急性虫垂炎・鼠径ヘルニア・急性膵炎について
10	皮疹	湿疹・オムツ皮膚炎・乳児寄生菌性紅斑・蕁麻疹・伝染性膿痂疹・血管性紫斑病について
11	けいれん①	てんかんについて
12	けいれん②	熱性けいれん・髄膜炎・脳炎・脳症・頭蓋内出血について
13	不定愁訴	起立性調節障害・片頭痛・成長痛について
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

			シラバス		P-//4/ 1 1	3年 小儿区原 1
			科目の基礎情報①			
授業形態	講義	科目名		小児医療 B		
必修選択	選択	(学則表記)		小児医療 B		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		1	15
使用教材	小児科でよくみる	5症状・疾患ハンドブ	ック	出版社	照林社	
使用软物	※デジタル教材			山水仁		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	小児医療に携わる	6保育士として、必要	な基礎知識を身につける			
到達目標	小児科医療現場で	での看護を学び、子ど	もの病気の診断と治療について	理解できる		
判廷口憬	子どもの症状に対	付し、保育士として適	切な対応ができる			
評価基準	テスト:50% 提	出物:30% 授業態度	: 20%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者					
	・成績評価が 2 以	以上の者				
関連資格						
関連科目	子どもの医療IA	/B、子どもの保健 A/	B、子どもの体のしくみ A/B			
備考	原則、この科目は対面形式にて実施する					
担当教員	井瀬 桂子			実務経験		0
実務内容	北海道内の病院の)手術室 内科 透析室	等に約 20 年間従事する			

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション	授業の進め方・到達目標について			
1	うつりやすい疾患	麻疹・風疹・おたふくかぜ・水痘・伝染性紅斑について			
2	成長、発育、代謝に関する疾患	肥満症・成長ホルモン分泌不全低身長症・甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症・糖尿病・夜尿			
2	戍女、発月、八謝に関りる伏忠 	症について			
3	泌尿器、性器の疾患	急性糸球体腎炎・ネフローゼ症候群・溶血性尿毒症症候群・外性器疾患について			
	ル水台、圧台の大志 				
4	 血液の疾患、悪性腫瘍①	鉄欠乏性貧血・特発性血小板減少性紫斑病・血友病・ビタミン K 欠乏症について			
5	 血液の疾患、悪性腫瘍②	白血病・脳腫瘍について			
		Parametris 100 1 = 1 - 1			

	T	区综体目件"3 中" 小冗区综 D
6	アレルギーの疾患①	食物アレルギーについて
7	同上	同上
8	アレルギーの疾患②	アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎・花粉症について
9	発達、行動の問題	注意欠如・多動症・自閉スペクトラム障害・不登校・チック・虐待について
10	小児の心肺蘇生	心臓マッサージ・気道確保・人工呼吸・AED について
11	小児の経口補水療法	脱水の評価・補水の方法について
12	小児の在宅医療	医療的ケアについて
13	病児保育	病児保育とは何かについて
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	実習	科目名		教育実習		
必修選択	選択	(学則表記)		教育実習Ⅱ		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		2	90
使用教材	なし			出版社		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	幼稚園での体験を	を通して、保育のやり	がいと責任を学び、保育の知識	と技術を深める。		
到達目標	指導案を作成し、	必要な準備をした上	で、子どもたちの前で実践でき	る。		
到廷口惊	時系列に沿って、	子どもたちへの留意	点を踏まえた日誌を作成できる	0		
評価基準	保育現場評価、実	ミ習日誌、実習準備、:	参加態度等を総合評価			
川岬金丁	小田原短期大学の)実習評価基準に準ず	る			
認定条件	・10 日以上、実保育時間(休憩除く)80 時間以上					
20/2/111	・成績評価が 2 り	以上の者				
関連資格	幼稚園教諭免許					
関連科目	教育実習Ⅰ、保育	育実習 I (保育所)、係	R育実習 I (施設)、保育実習・	・ 、実習対策	III	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員	國田 春名			実務経験		0
実務内容	幼稚園教諭9年					

			シラバス	<u> </u>	biolitical and bio	日大日1 ()地政/
			科目の基礎情報①			
授業形態	実習	科目名		保育実習 (施	受)	
必修選択	選択	(学則表記)		保育実習 (施設)		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		2	90
使用教材	なし			出版社	なし	
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	現場での体験を通	通して、児童福祉施設・	や障害者施設を理解し、生活支持	援の知識と技術を	深める。	
到達目標		とな支援の補助ができ.				
	・時系列に沿って	て、子どもたちへの留意	意点を踏まえた日誌を作成でき _。	る。		
評価基準			参加態度等を総合評価			
)実習評価基準に準ず.				
認定条件			保育時間(休憩除く)80 時間以	以上		
	・成績評価が 2 以	以上の者				
関連資格	保育士資格					
関連科目	教育実習丨・川.	保育実習 I (保育)・	∥・Ⅲ、実習対策Ⅲ			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員	國田 春名			実務経験		0
実務内容	幼稚園教諭9年	•				

			シラバス			
			科目の基礎情報①			
授業形態	実習	科目名		保育実習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)		保育実習Ⅱ		
		開講			単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		2	90
使用教材	なし			出版社		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	保育現場での体影	食を通して、保育のや	りがいと責任を学び、保育の知	識と技術を深める	0	
到達目標	保育所にて、年齢に合ったこどもへの関わりが理解でき、実施できる。					
判廷口惊	時系列に沿って、	子どもたちへの留意	点を踏まえた日誌を作成できる。	>		
評価基準	保育現場評価、実	ミ 習日誌、実習準備、	参加態度等を総合評価			
可興坐十	小田原短期大学の)実習評価基準に準ず	3			
認定条件	・90 時間(休憩	含む)以上または、実	保育時間(休憩除く)80時間以	以上		
POACOKTI	・成績評価が 2 以	以上の者				
関連資格	保育士資格					
関連科目	保育実習 (保育所)、保育実習 (施設)、教育実習 ・ 、保育実習 ・実習対策					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員	國田 春名			実務経験		0
実務内容	幼稚園教諭9年					

シラバス						
科目の基礎情報①						
授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅲ			
必修選択	選択	(学則表記)	保育実習Ⅲ			
開講					単位数	時間数
年次	3年	学科	医療保育科		2	90
使用教材	なし			出版社		
科目の基礎情報②						
授業のねらい	保育現場での体験を通して、保育のやりがいと責任を学び、保育の知識と技術を深める。					
到達目標	児童福祉施設にて、年齢や障がい・発達に合ったこどもへの関わりが理解でき、実施できる。					
	時系列に沿って、子どもたちへの留意点を踏まえた日誌を作成できる。					
評価基準	保育現場評価、実習日誌、実習準備、参加態度等を総合評価					
	小田原短期大学の実習評価基準に準ずる					
認定条件	・90 時間(休憩含む)以上または、実保育時間(休憩除く)80 時間以上					
	・成績評価が 2 以上の者					
関連資格	保育士資格					
関連科目	保育実習 (保育所)、保育実習 (施設)、教育実習 ・ 、保育実習 ・実習対策					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員	國田 春名			実務経験		0
実務内容	幼稚園教諭9年					